

マイクロカセット™コーダー

取扱説明書 Operating Instructions

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

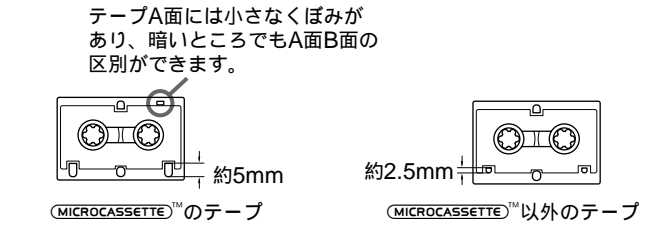
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

M-100MC

Sony Corporation © 1998 Printed in China

ご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- マイクロカセットコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- カセットテープは(MICROCASSETTE™)の表示があるものをご使用ください。この表示のないテープは、このマイクロカセットコーダーでは使用できない場合があります。(A)

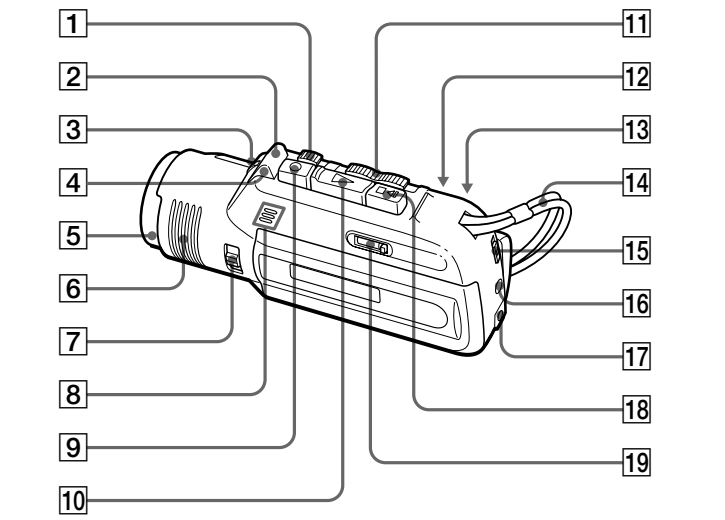


- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

主な特長

- 録音状況に応じてマイクの感度、および指向性を3段階(講義、会議、口述)に切り換えることができる録音モード切り換えスイッチ。
- 電池の消耗を2段階で知らせる電池(残量)ランプと電池の交換時期を知らせる⌘(電池交換)ランプ。
- 録音内容ごとに信号音を入れておくことにより、キュー/レビュー時に頭出しができる、キューマーカー機能。
- 再生の速度を普通速度より速め、効率良く聞き返すのに便利なファーストプレイバック(速聞き再生)機能。
- 一定の強さ以上の音声を検知して自動的に録音が始まり、それ以下の音声になるとテープが止まるVOR(自動音声録音スタート)機能。
- 再生モードから直接録音モードにできる後追い録音機能。
- テープカウンター
- 再生・録音時にテープの終わりで自動的に動作が止まる、オートシャットオフ機能。
- 停止ボタンを押すと一時停止も解除される、ストップポーズリリース機能。解除を忘れて録音チャンスを逃してしまう失敗を減らします。

各部のなまえ B



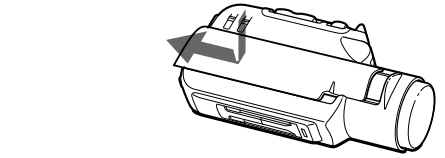
- 一時停止スイッチ
- キューマーカーボタン
- 音量つまみ
- 録音ランプ
- マイク
- スピーカー
- 録音モード切り換えスイッチ
- 電池(残量)ランプと⌘(電池交換)ランプ
- (録音)ボタン
- ▶(再生)ボタン
- ▶▶(早送り)/キュー
- ◀◀(巻き戻し)/レビューつまみ
- VORスイッチ
- ファーストプレイバックスイッチ
- ハンドストラップ
- テープスピード切り換えスイッチ
- イヤホンジャック
- DC IN 3Vジャック
- ◀(停止/取り出し)ボタン
- テープカウンター

乾電池を入れる

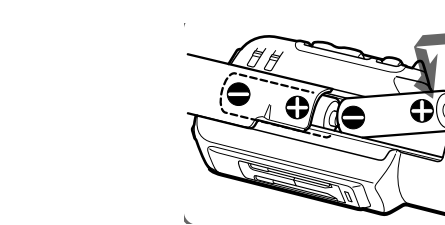
ここでは乾電池での使いかたを説明します。コンセントでの使いかたは、「電源について」をご覧ください。

1 付属の乾電池を入れる C-①

- 押しながら矢印の方向へずらす



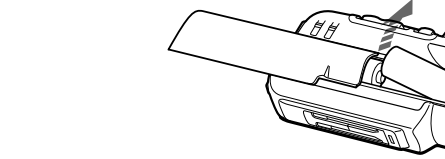
- 単3形乾電池2本を入れる



ご注意

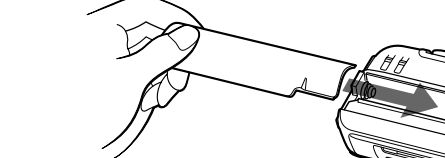
- 新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。

乾電池を取り出すときは C-②



電池入れのふたがはずれたときは C-③

電池入れのふたは、開けるときに過大な力を加えると、はずれるようになっています。はずれた場合は図のようにふたを溝に通して取り付けてください。

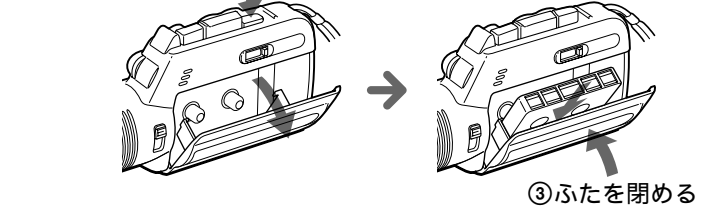


録音する

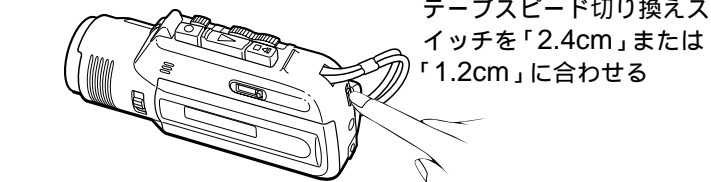
内蔵マイクですぐに録音できます。

1 カセットを入れる D-①-a

- ◀(停止/取り出し)を押してふたを開ける
- 録音を始める面をふた側にふたを入れる

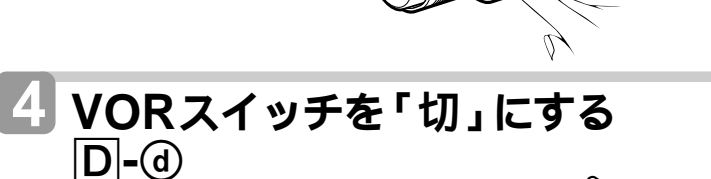


2 テープスピードを選ぶ D-①-b



3 録音モードを合わせる D-①-c

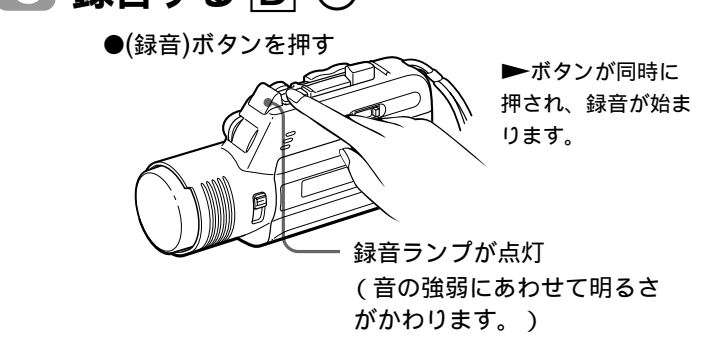
録音モード切り換えスイッチを録音状況に合わせて「講義」「会議」または「口述」に切り換える



4 VORスイッチを「切」にする D-①-d

ここでは通常の録音のしかたを説明します。VOR機能を使った録音については「録音の便利な機能を使う」をご覧ください。

5 録音する D-①-e



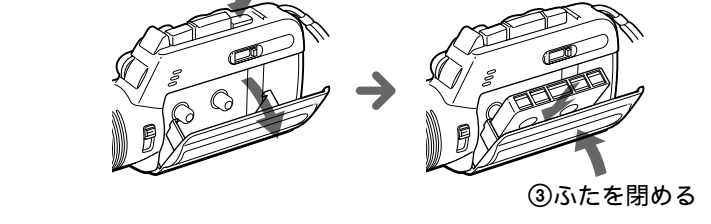
| 操作 | 押すボタン、ずらすつまみ |
|-----------|--|
| 録音を止める | ■◀(停止/取り出し) |
| 一時停止する | 一時停止スイッチを矢印の方向にずらす。録音ランプと電池(残量)ランプが消灯する。一時停止を解除するには、一時停止スイッチを元に戻す。 |
| カセットを取り出す | ■◀(停止/取り出し) |

テープを聞く

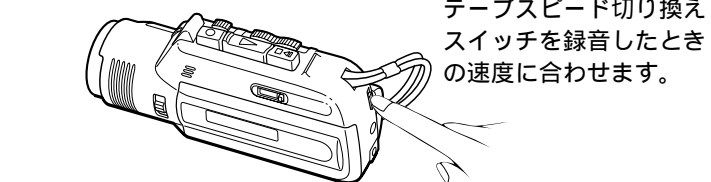
内蔵スピーカーから音が聞こえます。

1 カセットを入れる E-①-a

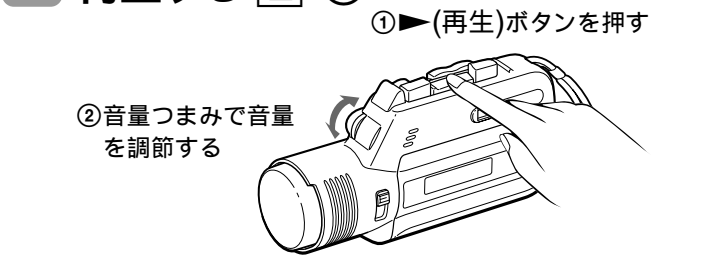
- ◀(停止/取り出し)を押してふたを開ける
- 再生を始める面をふた側にふたを入れる



2 テープスピードを選ぶ E-①-b



3 再生する E-①-c



| 操作 | 押すボタン、ずらすつまみ |
|-------------------|---|
| テープを止める | ■◀(停止/取り出し) |
| 一時停止する | 一時停止スイッチを矢印の方向にずらす。電池(残量)ランプが消灯する。一時停止を解除するには、一時停止スイッチを元に戻す。 |
| 早送りする* | 停止中に▶▶(早送り)/キュー◀◀(巻き戻し)/レビューつまみを▶▶(早送り)/キューの方向にずらす。* |
| 巻き戻す* | 停止中に▶▶(早送り)/キュー◀◀(巻き戻し)/レビューつまみを◀◀(巻き戻し)/レビューの方向にずらす。* |
| 音を聞きながら早送りする(キュー) | 再生中に▶▶(早送り)/キュー◀◀(巻き戻し)/レビューつまみを▶▶(早送り)/キューの方向にずらす(指を離すとそこから再生する)。* |
| 音を聞きながら巻き戻す(レビュー) | 再生中に▶▶(早送り)/キュー◀◀(巻き戻し)/レビューつまみを◀◀(巻き戻し)/レビューの方向にずらす(指を離すとそこから再生する)。* |

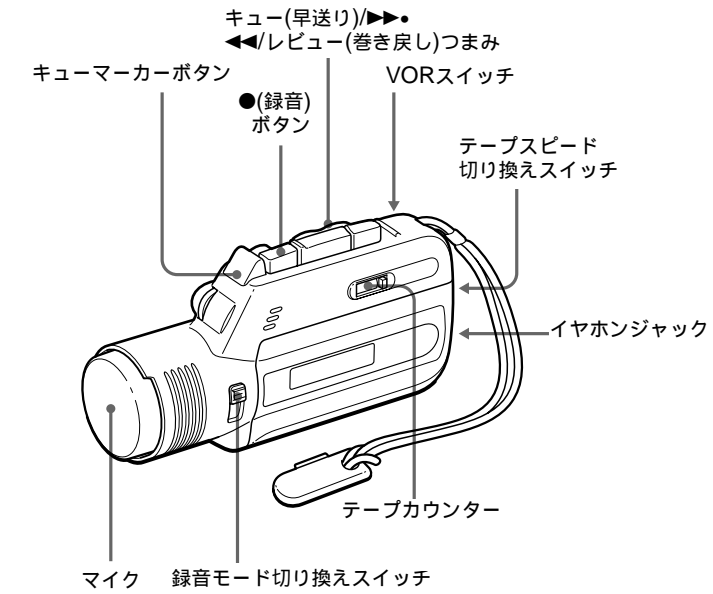
* 早送り、巻き戻しをしてテープが巻き取られたあと、そのままにしておくと電池が急激に消耗するので必ず■◀(停止/取り出し)ボタンを押してください。
** テープは巻き戻し/レビュー時のほうが早送り/キュー時よりも速く巻き取られます。

ご注意

再生中に巻き戻し(レビュー)をしてテープの始めまで巻き取られた時、指を離しても▶▶(早送り)/キュー◀◀(巻き戻し)/レビューつまみが中央に戻らないことがあります。このような場合は、つまみを中央に戻すと再生が始まります。

テープを速聞きするには(ファーストプレイバック)ファーストプレイバックスイッチを矢印の方向にずらします。元の速度に戻すには矢印の反対方向にずらします。効率良く聞き返したいときに便利です。

録音の便利な機能を使う F



テープカウンターを使う

録音を始める前に、テープカウンターのリセットボタンを押して「000」にします。録音の頭を探すのに便利です。

テープ速度

テープスピード切り換えスイッチでテープ速度を選びます。

2.4cm: 通常の録音をするとき

「1.2 cm」のときより良い音で録音できます。

1.2cm: テープを2倍の長さを使って録音するとき(MC-60を使うと往復120分の録音ができます。)

ご注意

- 再生は録音と同じテープスピードで行ってください。他のマイクロカセットレコーダーで再生する可能性がある場合は、なるべく2.4cm/sの速さで録音してください。1.2cm/sの速さで録音したテープを、他のマイクロカセットレコーダーで再生すると、再生音が異なる場合があります。

音がしたとき自動的に録音を始める(VOR機能)

VORスイッチを「入」に切り換えておきます。

●(録音)ボタンを押すと、ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると止まります。録音の途中でテープを止める手間ははぶけるので口述録音するときに便利です。また、空録音の部分がなくなり、テープが有効に使えます。

ご注意

- VOR機能は周囲の環境に左右されます。VORスイッチを操作しても思い通りに録音できないときは、VORスイッチを「切」にしてください。
- 音を感じてから録音が始まるので、言葉の初めの部分は録音されないことがあります。大切な録音のときは、VORスイッチを「切」にしてください。

録音モードを変えて録音するには G

研修会などで、特定の人の声を集中的に録音したいとき、会議などの発言を録音したいとき、または、口述録音したいときなど、それぞれに合ったマイク感度と指向性に切り換えることができます。録音モード切り換えスイッチを「講義」「会議」「口述」のどれかに合わせます。



録音中の音を聞くには

付属のイヤレシーバーをイヤホンジャックにつなぎます。(奥までしっかりと差し込んでください。)
聞こえる音量は一定で音量つまみで調節することはできません。

後追い録音をする

再生中に●(録音)ボタンを押すと、そこから録音状態になります。録音したものの一部分を修正したいときなどに便利です。

録音したものをすぐに聞く(ワンタッチレビュー)

録音中に▶▶(早送り)/キュー◀◀(巻き戻し)/レビューつまみを◀◀(巻き戻し)/レビューの方向にずらすとテープが巻き戻され、手を離すとそこから再生が始まります。

キューマーカーを録音するには

録音中にキューマーカーボタンを押すことによって、目印としての信号を録音することができます。

キューマーカーボタンを押すと、録音ランプが消灯して、信号がテープに録音されます。さらに長い信号を録音したい場合は、ボタンを押し続けてください。再生状態で早送りをしたり(キュー)、巻き戻したり(レビュー)すると、信号が録音されているところで音(ビー)がして知らせます。また、再生中も低い音(ブー)が聞こえます。

ご注意

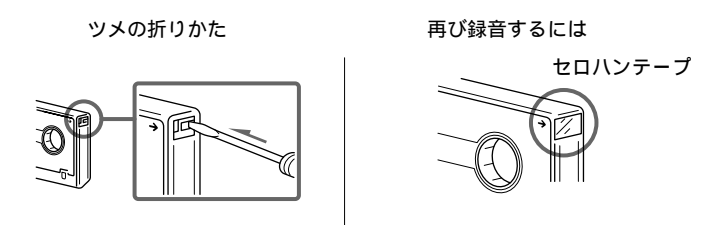
- キューマーカーは音声のとぎれたところでお使いください。
- キューマーカーの信号音はキュー時とレビュー時では音質が異なります。また、テープの最初と最後は巻き取られる速度が異なるため、テープの箇所によっても音質が変わります。

テープが終わりまでくると(オートシャットオフ機構)

録音または再生状態でテープが終わりまで巻き取られると、押し込まれていたボタンは自動的に元に戻ります。早送り、巻き戻しをしたときは▶▶(早送り)/キュー◀◀(巻き戻し)/レビューつまみを中央に戻してください。

大切な録音を守るには H

カセットのツメを折ると録音状態にできなくなるので、録音した音声を誤って消してしまうミスが防げます。ツメを折っても穴をふさぐと再び録音できます。図に示された部分以外にはテープを貼らないでください。



ツメの折りがた

再び録音するには

セロハンテープ

スタンド

ハンドストラップについているゴム製のスタンドを、本機の底面の差し込み口に差し込みます。

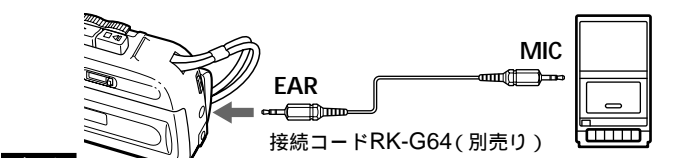
スタンドがはずれたときは J-①-b

スタンドは過大な力を加えると、はずれるようになっています。はずれた場合には、図のようにして取り付けてください。



他のテープレコーダーへ録音する I

本機を再生状態にして、接続したモノラルテープレコーダーを録音状態にします。

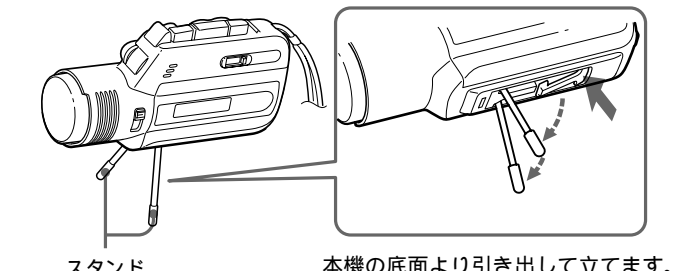


ご注意

- 接続コード類のプラグはしっかりと差し込んでください。
- 上の例はソニー製品の場合です。他社製品との接続がうまくいかないときは、その製品の説明書をご覧ください。

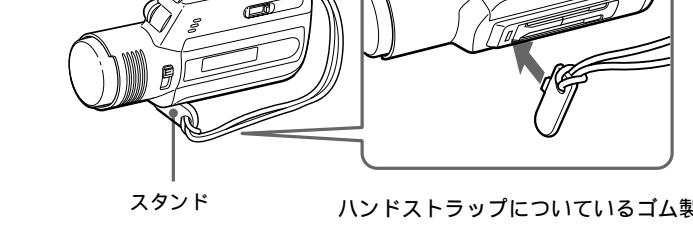
スタンドを使って J-①-a

スタンドを使ってマイクの向きを変えることによって、余分な音を拾わず、よりクリアな録音ができます。特に、録音モードが「講義」のときは、スタンドを使うとマイクを音源の方向に向けて録音することができ、便利です。スタンドの立てかたは次の2通りあります。録音状況の合った方をお使いください。



スタンド

本機の底面より引き出して立てます。

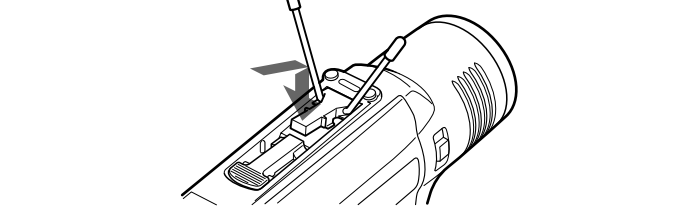


スタンド

ハンドストラップについているゴム製のスタンドを、本機の底面の差し込み口に差し込みます。

スタンドがはずれたときは J-①-b

スタンドは過大な力を加えると、はずれるようになっています。はずれた場合には、図のようにして取り付けてください。



電源について

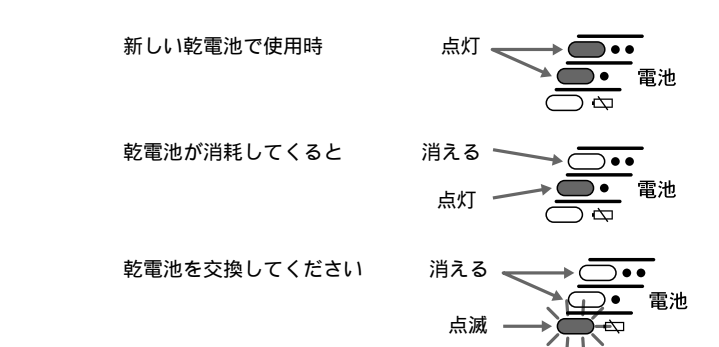
| | |
|-------------------------|------------|
| 乾電池の持続時間 | |
| 使用電池 | 録音時(EIAJ*) |
| ソニールカリ乾電池LR6(SG)使用時 | 約16時間 |
| ソニー乾電池ニュースーパーR6P(SR)使用時 | 約5.5時間 |

* EIAJ(日本電子機械工業会)規格による測定値です(ソニーマイクロカセットテープMC-60使用)。

乾電池は持続時間の長いアルカリ乾電池をおすすめします。

ご注意
電池持続時間は使用条件によって、短くなる場合があります。

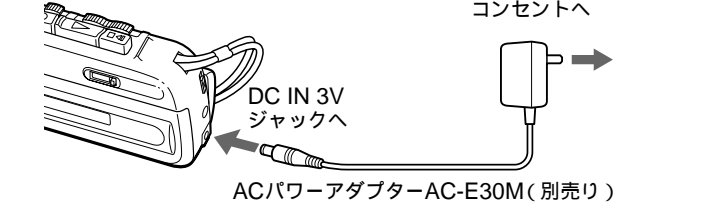
乾電池を交換する時期 **[**K**]-**⑥
電池が消耗すると、テープ走行が不安定になったり雑音が多くなったりします。再生 / 録音中にⓈ(電池交換)ランプが点滅したら、乾電池を2本とも新しいものと交換してください。



ご注意

- Ⓢ(電池交換)ランプが点滅し始めても、しばらくはテープが動きますが、正常な音で再生できなくなり、録音時には、雑音が録音されたり、録音される音が小さくなりますので、必ず乾電池を交換してください。
- Ⓢ(電池交換)ランプが点滅して、乾電池の交換時期を知らせるのは、再生 / 録音時、および一時停止時(VOR使用時の一時停止も含む)です。
- 次のような場合には電池を交換する必要はありません。
 - 再生中に音量を上げたときなどにⓈ(電池交換)ランプが音に応じて一時的にちらついた場合。
 - テープの動きはじめやテープの終わりで、Ⓢ(電池交換)ランプが瞬間的に点灯した場合。
 - 早送り(キュー) / 巻き戻し(レビュー)中にⓈ(電池交換)ランプが点滅した場合。
- 別売りの充電式電池でお使いの場合、充電してあっても電池(残量)ランプが1つしか点灯しないことがあります。

コンセントにつないで使う **[**K**]-**⑧



- 別売りのACパワーアダプターAC-E30Mを本体のDC IN 3Vジャックにつなぎます。
- ACパワーアダプターをコンセントにつなぎます。

ご注意
この製品には、別売りのACパワーアダプターAC-E30M(極性統一形プラグ・EIAJ規格)をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。



使用上のご注意

録音について

- カセットテープには(MICROCASSETTE)™の表示があるものをご使用ください。
- 録音中、マイクを電灯線や蛍光灯に近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。

乾電池について
乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことは必ず守ってください。

- ⑥と⑦の向きを正しく入れてください。
- 乾電池は充電できません。
- 長い間使わないときは、取り出しておいてください。
- 液もれが起ったときは、液をよくふきとってから新しい乾電池を入れてください。
- 持ち運ぶときはキーホルダーなどの金属類と一緒にポケットに入れないでください。
- 乾電池の⑥⑦が金属とつながるとショートし、発熱して危険です。
- 別売りのACパワーアダプターやカーバッテリーコードをDC IN 3Vジャックにつないていると、乾電池ではお使いになれません。

| |
|--|
| 環境汚染の軽減と経済性を考えて |
| 本機は、乾電池の他に <ul style="list-style-type: none">別売りのニカド充電式電池NC-AA-2B(別売りのバッテリーチャージャーBC-30K2にて充電可能) 別売りのACパワーアダプターAC-E30M でもお使いになれます。 |

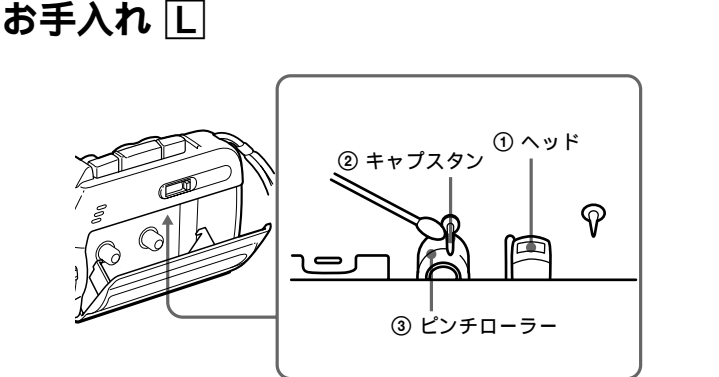
取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
 - 温度が非常に高いところ(60℃以上)。
 - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
 - 窓を開めきった自動車内(特に夏季)。
 - 風呂場など湿気の多いところ。
 - 磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
 - ほこりの多いところ。
- 長い間使わなかったときは、再びお使いになる前に、数分間再生状態にして空回しをしてください。良い状態でお使いいただけます。

キャッシュカードや定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけると、マグネットの影響で磁気に変化してカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

お手入れ **[**L**]**



よい音でテープを聞くために
10時間程度使ったら、▶(再生)ボタンを押し込んだあとに、別売りのクリーニングキット(KK-41)でヘッド、キャプスタン、ピンチローラーをきれいにしてください。

本体表面が汚れたときは
水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきます。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

故障かな？

修理に出す前にもう1度お調べください。

| 症状 | 原因 / 処置 |
|------------------------|--|
| カセットが入らない。 | <ul style="list-style-type: none">カセットの向きが正しくない。 ▶(再生)ボタンが押し込まれている。 |
| ●(録音)ボタンが押し込めない。 | <ul style="list-style-type: none">カセットが入っていない。 カセットのツメが折れている。→録音内容を消してもよい場合は穴をふさぐ。 |
| ●(録音)や▶(再生)ボタンが押し込めない。 | <ul style="list-style-type: none">テープが終わりまで巻き取られている。 オートシャットオフの後、■一時停止スイッチが矢印の方向へずらされている。 |
| 操作ボタンを押しても動作しない。 | <ul style="list-style-type: none">乾電池の⑥と⑦の向きが正しくない。 乾電池が消耗している。→2本とも同じ種類の新しいものと交換する。 ■一時停止スイッチが矢印の方向へずらされている。 ACパワーアダプターやカーバッテリーコードが本体に差したままになっている。→ACパワーアダプターやカーバッテリーコードがジャックに差してあると、それが優先されるので、乾電池使用時には本体から抜いておく。 |
| スピーカーから音が出ない。 | <ul style="list-style-type: none">イヤホンが差し込まれている。 音量が最小になっている。 |
| 音が小さい。 | <ul style="list-style-type: none">音量が絞られている。 |
| 音質がよくない。 | <ul style="list-style-type: none">乾電池が消耗している。→2本とも同じ種類の新しいものと交換する。 |
| 雑音が入る。 | <ul style="list-style-type: none">ヘッドが汚れている。→クリーニングする。 乾電池が消耗している。→2本とも同じ種類の新しいものと交換する。 |

キュー(早送り) / レビュー(巻き戻し)中、途中で止まる。または動かない。早送りや巻き戻しできない。

| | |
|---------------------|---|
| 再生速度が速すぎたり、遅すぎたりする。 | <ul style="list-style-type: none">テープスピード切り換えスイッチの位置が録音時と違う位置にある。 |
| 再生速度が通常より速い。 | <ul style="list-style-type: none">ファーストプレイバックスイッチが矢印の方向へずらされている。 |

| | |
|---------------|---|
| 録音できない。 | <ul style="list-style-type: none">乾電池が消耗している。→2本とも同じ種類の新しいものと交換する。 ヘッドが汚れている。→クリーニングする。 VORが働いている。VORを使用しないときは、スイッチを「切」にする。 |
| 録音が途中で止まる。 | <ul style="list-style-type: none">VORが働いている。VORを使用しないときは、スイッチを「切」にする。 |
| 前の音が完全には消えない。 | <ul style="list-style-type: none">ヘッドが汚れている。→クリーニングする。 |

主な仕様

| | |
|---------------|--|
| テープ | <div> MICROCASSETTE™マイクロカセットテープ </div> |
| トラック方式 | マイクロカセットモノラル |
| スピーカー | 直径28mm |
| テープ速度 | 2.4cm/s、1.2cm/sのスピード切り換え |
| 周波数範囲(EIAJ*) | 「講義」: 400～3,000 Hz 「会談」: 400～4,000 Hz |
| 出力端子 | イヤホン(ミニジャック)(1) 負荷インピーダンス 8～300 Ωのイヤホン用 |
| 実用最大出力 | 220 mW (EIAJ*) |
| 電源 | DC 3V、単3形乾電池2本使用 |
| 最大外形寸法 | 約126.0 × 68.0 × 40.8 mm (幅/高さ/奥行き)(EIAJ*) |
| 質量 | 最大突起部含む 本体 約140g |
| 付属品 | ご使用時 約180g (乾電池R6P(SR)2本、マイクロカセットテープMC-60含む) ソニー乾電池R6P(SR) (2) マイクロカセットテープMC-30(1) モノラルイヤホンレシーバー(1) ウインドスクリーン(1) 取扱説明書(1) 保証書(1) ソニーご相談窓口のご案内 (1) ACパワーアダプター AC-E30M(極性統一形プラグ・EIAJ*規格) カーバッテリーコード DCC-E230 接続コード RK-G64 クリーニングキット KK-41 |
| 別売アクセサリー | |

* EIAJ(日本電子機械工業会)規格による測定値です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス
調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではマイクロカセットコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

English
As you read, refer to the illustrations in the Japanese corresponding text (labeled with **[**A**]**, **[**B**]**, etc.)

▶ Getting Started

Index to Parts and Controls **[**B**]**

| | |
|----------------------|--|
| [1] | [1] 一時停止 (pause) switch |
| [2] | キューマーカー (cue marker) button |
| [3] | 音量 (volume) control |
| [4] | 録音 (recording) indicator |
| [5] | Microphone |
| [6] | Speaker |
| [7] | 録音モード (recording mode) selector |
| [8] | 電池 (battery) indicators and Ⓢ indicator |
| [9] | ● (recording) button |
| [10] | ▶ (playback) button |
| [11] | ▶▶ (fast-forward) / キュー (cue) ・ ◀◀ (rewind) / レビュー (review) switch |
| [12] | VOR switch |
| [13] | ファーストプレイバック (fast playback) switch |
| [14] | Handstrap |
| [15] | テープスピード (tape speed) switch |
| [16] | イヤホン (earphone) jack |
| [17] | DC IN 3V jack |
| [18] | ■ ◀ (stop/eject) button |
| [19] | テープカウンター (tape counter) |

Preparing Power Sources

Choose one of the following power sources.

Dry Batteries **[C**]-**④**

Make sure that nothing is connected to the DC IN 3V jack.

- Open the battery compartment lid.
- Insert two R6 (size AA) batteries with correct polarity and close the lid.

To take out the batteries **[C**]-**⑥**

To attach the battery compartment lid, if it is accidentally detached **[C**]-**③**
Attach it as illustrated.

Notes on VOR (Voice Operated Recording)

- The VOR switch depends on the environmental conditions. If you cannot get the desired results, set VOR to 切 (off).
- When you use VOR in a noisy place, the unit will stay in the recording mode. If the sound is too soft, on the contrary, the unit will not start recording.

Replace the batteries with new ones when the 電池 (battery) indicators go off and the Ⓢ indicator flashes.

The battery indicators change as illustrated.

Notes

- The unit will play back normally for a while, even after the Ⓢ indicator flashes. However, replace the batteries as soon as you can. If not, the playback cannot be made with normal sound, noise may be recorded and the recorded sound will not be loud enough.
- The Ⓢ indicator flashes to indicate battery replacement during playback, recording and pause (during pause by VOR function also).
- In the following cases you do not need to replace the batteries:
 - if the battery indicators flash with the playback sound when you turn up the volume.
 - if the Ⓢ indicator lights momentarily when the tape starts running or at the end of the tape.
 - if the Ⓢ indicator flashes during fast forward/cue or rewind/review.

| Battery life (Approx. hours) (EIAJ*) | |
|--------------------------------------|-----------|
| Batteries | Recording |
| Sony alkaline LR6 (SG) | 16.0 |
| Sony R6P (SR) | 5.5 |

* Measured value by the standard of EIAJ (Electronic Industries Association of Japan) (Using a Sony Microcassette MC-60)

Note
The battery life may shorten depending on the operation of the unit.

House current **[K**]-**⑧**

Connect the AC power adaptor to the DC IN 3V jack and to a wall outlet. Use the AC-E30M AC power adaptor (not supplied). Do not use any other AC power adaptor.

Polarity of the plug

▶ Operating the Unit

Recording

- Press **[**■◀**]** and insert a standard microcassette with the side to start recording facing the lid. **[**D**]-**②
- Select the desired tape speed. **[**D**]-**⑥
2.4cm for optimum sound (recommended for normal use): A 30-minute recording can be made using both sides of the MC-30 microcassette. 1.2cm for longer recording time: A 60-minute recording can be made using both sides of the MC-30 microcassette.
- Set 録音モード (recording mode) to select the sensitivity of the microphone (see "Using the recording mode selector"). **[**D**]-**③
- Set VOR to 入 (on) or 切 (off). **[**D**]-**④
If you set VOR to 入 (on), the unit automatically starts recording the sound and pauses when there is no sound (you can save tapes and batteries). When the sound is not loud enough, set it to 切 (off), or the unit may not start recording.
- Press **[**●**]**, **[**D**]-**⑤
Recording starts. While the tape runs, the 録音 (recording) indicator lights and flashes depending on the strength of the sound.

| To | Press or slide |
|--|--|
| Stop playback/stop fast forward or rewind* | [■◀] |
| Start recording during playback | <ul style="list-style-type: none">● during playback (the unit becomes in the recording mode). The 録音 (recording) indicator lights. |
| Review the portion just recorded | Slide ▶▶/キュー (cue) ・ ◀◀/レビュー (review) toward ◀◀/レビュー (review) during the recording. Release it at the point to start playback. |
| Pause recording | Slide [■一時停止 (pause)] in the direction of the arrow. The 録音 (recording) and 電池 (battery) indicators go off. To release pause recording, slide [■一時停止 (pause)] in the opposite direction. |
| Take out a cassette | [■◀] |

Note
Select the 2.4 cm tape speed for recording, if you play back the recorded tape with another unit. Otherwise, the sound quality may be changed.

Tape counter **[F**]****

Before recording, press the reset button of the テープカウンター (tape counter). It is useful for finding the beginning of the recording.

Notes on VOR (Voice Operated Recording)

- The VOR switch depends on the environmental conditions. If you cannot get the desired results, set VOR to 切 (off).
- When you use VOR in a noisy place, the unit will stay in the recording mode. If the sound is too soft, on the contrary, the unit will not start recording.

Using the recording mode selector **[G**]****
Set 録音モード (recording mode) to the desired position depending on the recording situation.
講義 (lecture): to record the sounds from where the unit is aiming (uni-directional). It is useful to record during a lecture. The sensitivity is high.
会議 (meeting): to record at meetings or in a quiet or spacious place (omni-directional). The sensitivity is high.
口述 (dictation): to record for dictation or in a noisy place (omni-directional). The sensitivity is low.

To monitor the sound **[F**]****
Connect the earphone to イヤホン (earphone) jack. The monitor volume cannot be adjusted by the 音量 (volume) control.

Recording cue marks **[F**]****

While recording, you can record a special signal on the tape to mark a specific position.
At the desired position, push キューマーカー (cue marker) to record a signal. The 録音 (recording) indicator goes off for a while and a signal will be recorded on the tape. If you want to record a signal longer than that, push キューマーカー (cue marker) as long as you want.
During cue and review, you will hear the beep sound at the signal position. During playback, you will hear the signal with low frequency.

Notes

- We recommend recording cue marks when there is a break in the sound.
- The beep sounds during cue differs from that during review.
- The beep may sound differently depending on the marked position on the tape because the winding speed varies from the beginning to the end of the tape.

At the end of the tape
In the recording or playback mode, the tape stops at the end of the tape and the locked buttons will be released automatically (Automatic shut-off mechanism).
After fast forward or rewind, be sure to set ▶▶/キュー (cue) ・ ◀◀/レビュー (review) back to the center position.

To prevent a cassette from being accidentally recorded over **[H**]****
Break out and remove the cassette tabs. To reuse the cassette for recording, cover the tab hole with adhesive tape.

Playing a Tape

- Insert a cassette with the side to start playing facing the lid. **[**E**]-**②
- Set テープスピード (tape speed) to the same speed as that used for recording. **[**E**]-**⑥
- Press **[**▶**]**. **[**E**]-**③
- Adjust the volume by the 音量 (volume) control. **[**E**]-**④

| To | Press or slide |
|--|---|
| Stop playback/stop fast forward or rewind* | [■◀] |
| Pause playback | Slide [■一時停止 (pause)] in the direction of the arrow. The battery indicators go off. To release pause playback, slide [■一時停止 (pause)] in the opposite direction. |
| Fast forward | Slide ▶▶/キュー (cue) ・ ◀◀/レビュー (review) toward ▶▶/キュー (cue) during stop.** |
| Rewind | Slide ▶▶/キュー (cue) ・ ◀◀/レビュー (review) toward ◀◀/レビュー (review) during stop.** |
| Search forward during playback (cue) | Keep ▶▶/キュー (cue) ・ ◀◀/レビュー (review) sliding toward ▶▶/キュー (cue) during playback and release it at the point you want.** |
| Search backward during playback (review) | Keep ▶▶/キュー (cue) ・ ◀◀/レビュー (review) sliding toward ◀◀/レビュー (review) during playback and release it at the point you want.** |

* If you leave the unit after the tape has been wound or rewound, the batteries will be consumed rapidly. Be sure to depress **[**■◀**]**.
** The tape moves faster in the rewind/review mode than in the fast forward/cue mode.

Note
If the tape is completely rewound while searching backward during playback (review), the ▶▶/キュー (cue) ・ ◀◀/レビュー (review) switch may not return to the center position when you release it. In this case, push it back to the center position to start playback.

To increase the playback speed
Slide the ファーストプレイバック (fast playback) switch in the direction of the arrow. The playback speed will be increased.
To return to the original speed, slide the switch to the original position.

Dubbing onto another tape recorder **[**I**]**

Connect another tape recorder using the RK-G64 connecting cord (not supplied).
Set this unit to the playback mode and another tape recorder to the recording mode.

How to Use the Stands

You can position the unit to record the sound more clearly using the stands. You can choose from the two types of stands depending on the recording situation. **[**J**]-**③

To attach the stand if it is accidentally detached **[J**]-**⑥**
Attach it as illustrated.

Precautions

On power

- Operate the unit only on 3 V DC.

For AC operation, use the AC adaptor recommended for the unit. Do not use any other type. For battery operation, use two R6 (size AA) batteries.

On the unit

- Use only the MICROCASSETTE™ (standard microcassettes) with this unit. Non-standard cassettes cannot be used because their "L" dimension (**[**A**]**) is different.
- Do not leave the unit in a location near heat sources, or in a place subject to direct sunlight, excessive dust or mechanical shock.
- Should any solid object or liquid fall into the unit, remove the batteries or disconnect the AC power adaptor, and have the unit checked by qualified personnel before operating it any further.
- Keep personal credit cards using magnetic coding or spring-wound watches etc. away from the unit to prevent possible damage from the magnet used for the speaker.
- When you do not use the unit for long, remove the batteries to avoid damage caused by battery leakage and subsequent corrosion.
- If the unit has not been used for long, set it in the playback mode and warm it up for a few minutes before inserting a cassette.

Troubleshooting

Should any problem persist after you have made these checks, consult your nearest Sony dealer.

A cassette cannot be inserted.

- The cassette is being inserted in the wrong way. (The cassette should be inserted in the lid with the tape side facing upward.)
- ▶ has been already pressed.

● cannot be pressed.

- There is no cassette in the cassette compartment.
- The cassette tab has been removed.

● or ▶ cannot be pressed.

- The tape has reached the end.
- After the automatic shut-off, **[**■一時停止 (pause)**]** is slid in the direction of the arrow.

The unit does not operate.

- The batteries have been inserted with incorrect polarity.
- The batteries are weak. Replace both batteries with new ones.
- **[**■一時停止 (pause)**]** is slid in the direction of the arrow.
- The AC power adaptor or car battery cord is connected to the unit only and you are going to use the unit on batteries.

No sound comes from the speaker.

- The earphone is plugged in.
- The volume is turned down completely.

The sound drops out or comes with excessive noise.

- The volume is turned down completely.
- The batteries are weak. Replace both batteries with new ones.
- The head is contaminated. See "Maintenance".

During cue/review, the tape stops or does not run. Or you cannot fast-forward or rewind.

- The batteries are weak. Replace both batteries with new ones.

Tape speed is too fast or too slow in the playback mode.

- Improper setting of the テープスピード (tape speed) switch. Set it to the same speed as that used for recording.

Tape speed is faster than the normal playback speed.

- The ファーストプレイバック (fast playback) switch is slid in the direction of the arrow.

Recording cannot be made.

- The batteries are weak. Replace both batteries with new ones.
- The head is contaminated.
- The VOR switch is set to 入 (on). When you do not use VOR, set it to 切 (off).
- Set the 録音モード (recording mode) selector firmly at the correct position.

Recording is interrupted.

- The VOR switch is set to 入 (on). When you do not use VOR, set it to 切 (off).
- Recording cannot be erased completely.**
- The head is contaminated.

Maintenance **[**L**]**

To clean the tape head and path
Press ▶ and wipe the head ①, capstan ② and the pinch roller ③ with a cotton swab, moistened with alcohol every 10 hours of use.

To clean the exterior
Use a soft cloth slightly moistened in water. Do not use alcohol, benzine or thinner.